

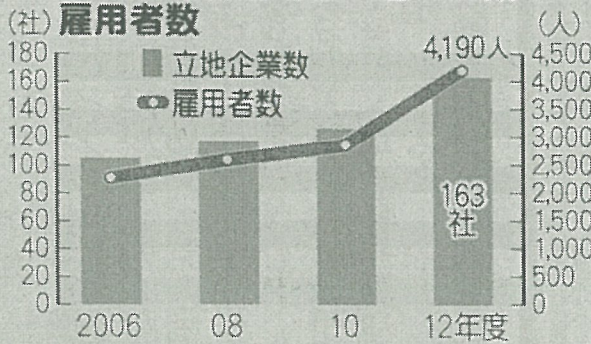
げいざい 風水

県の中部に位置する中城湾港は、流通機能・生産機能を併せ持った加工交易型産業の拠点として港湾施設や工業用地の整備が進められてきました。

また、うるま地区の国際物流拠点産業集積地域には、国と県が推進する情報通信産業の拠点として開設された「IT津梁パーク」や、一般製造業向けの賃貸工場やモノづくりの拠点となる「金型技術研究所センター」が併設された素材材（金型）産業向け賃貸工場などが設置されています。中城湾港開発推進協議会がまとめた同地区への進出企業数（速報値）は、2012年

中城湾港新港地区

中城湾港新港地区の進出企業と雇用者数



※12年度は、11月末時点の速報値を表示
出所：中城湾港開発推進協議会

11月末現在で163社となっており、前回調査（10年度）に比べ37社増加しています。就業者数も4,190人と、前回調査から1,343人増加しており、県や地元うるま市、沖縄市の関係機関による地道な誘致活動が実を結んでいると言えます。

雇用、2年で千人超増

ともあり、立地企業は製品の輸送コストや時間短縮等の課題を抱えています。また、専門的な技術者の養成・人材の確保も課題となっており、沖縄科学技術大学院大学や国立沖縄工業高等専門学校との連携も求められています。

本県の県内総生産に占める製造業の構成比は全国最下位となっていますが、現在、国や県、地元の自治体などが港湾施設の整備に加え、税制面での優遇や人材確保・人材育成に対する助成等、さまざまな支援策を講じて進出企業をサポートしています。中城湾港新港地区に多くの企業が進出し、同地区が中国・東南アジアに開かれた物流拠点として大きく発展することを期待しています。（沖縄銀行石川支店長 銘効康彦）